2　今後の公営企業の経営の方針

⑴　健全な経営の確保に関する事項

①　収入の増加に関する事項

・地場野菜の消費拡大や魚食普及の取組み等を通じ、市場経由率を向上させ、使用料収入の増収を図る。

・営業費用及び平成28年度まで続く地方債の償還に伴う費用に対する一般会計からの繰入金を確保する。

・未利用地の有効活用ならびに空き店舗の解消による使用料収入の増収を図る。

②　支出の削減に関する事項

・平成18年度以降の経常経費は、平成17年度と比較して１～２割程度を削減した規模で推移しており、今後もこれを維持する。

・老朽化による修繕費等が嵩む冷凍・冷蔵、空調等の設備について、収支の状況をみながら計画的に更新することで、維持管理費の削減を図る。

③　その他

・今後必要となる老朽設備の更新等の建設改良に伴う費用に備え、この財源確保のための研究や検討を行う。

・景気低迷に伴う場内業者の撤退による使用料収入の大幅な減少を食い止め、市場事業を維持していくため、経済情勢や事業の経営状況を見ながら、資金不足を生じさせない範囲内で使用料単価の見直しを行う。

⑵　その他公営企業の経営の合理化に関する事項

・より効率的な市場運営を図るため、指定管理者制度の導入などの経営の抜本的な改革についての研究や検討を行う。

青森県黒石市　下水道事業会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1　経営健全化計画の平成24年度実施状況

⑴　計画と具体的な措置の状況

・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(651,457千円)

・料金改定を平成23年８月請求分から実施。(前年度比約14,000千円の増収)

⑵　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	計画最終年度（平成24年度）
当初計画　A		△ 88,401	33,692	1,072,139	509,259
解消実績額　B		△ 60,820	245,012	1,047,669	294,828
現在計画　C		—	—	—	294,828
B－A又はC－A		27,581	211,320	△ 24,470	△ 214,431
資金不足額	1,526,689	1,587,509	1,342,497	294,828	—

備考

1　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

⑶　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		計画最終年度（平成24年度）	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	515.1	540.8	534.3	528.9	441.9	154.9	92.5	—	—